

街を行く

第139回 上中里 Kami-Nakazato

ステータスがある

田町に住んでいる小生、北は王子、赤羽、川口、浦和、大宮まで、南は大井町、川崎、横浜へ京浜東北線をよく利用しています。今回は川口に向かう途中、ふと「上中里」駅に目が止まり、その存在を初めて意識した次第。初めて意識した、ではなく、あることすら知らなかったと言っても言い過ぎではないでしょう。駅を利用されている方々に失礼かもしれませんが、小生には全く縁のなかった駅なのです。

川口での用を済ませ、早速この駅で下車しました。駅舎は昭和8年の開設。別にレトロ感が有るわけなし、こぢんまり、ひっそりと佇んでいる感じ。平日の昼間、混雑する時間帯ではないので余計にそう感じたのかも知れません。駅舎のすぐそばには「後三年の役」（前九年の役とセットで習うやつです）で活躍した源義家・義綱・義光の三兄弟を祀った「平塚神社」がありました。大河ドラマで注目される源頼朝の先祖ですよ。参道を先に歩くと初夏の暑さが和らいできます。さらに鳥居をくぐると大きな庭園に差し掛かりました。よく見れば国の名勝にも指定された「旧古河庭園」ではありませんか！これは良いものを見つけた、と財閥古河家の洋館見たさに入園チケットを求めて入口へ。しかし無情にも今日は閉館日でした。小生、趣味の一つに古い豪邸巡りがあります。当時の隆盛を誇るかのような贅の極みを尽した佇まいをみて、出世階段を上り詰めた富豪の人生履歴を想像するのが楽しいのです。

邸宅見学はまたの機会と諦め、今回は庭園を散策。和風のなかに薔薇の花を



ひっそりと佇む上中里駅と堂々の旧古河邸。ノーマークな駅にステータスの高い街を知り驚かされました。

沢山取り入れた和洋折衷の素晴らしい庭園です。さらに先の坂を下り駒込方面へ向かうと、右手に賑やかな「しもふり商店街」が開けています。ちょっと覗こうと歩きましたが意外と道のりが長い（でも、最後まで行きつきたい衝動が抑えきれません）！商店街にたどり着くと、そこは地域の住み心地良さを感じさせる下町情緒ある楽しい雰囲気。もっとも、近くに「六義円」（時代劇ではことごとく陰謀を巡らせる綱吉時代の柳澤吉保の邸宅跡）や渋沢栄一の邸宅がある飛鳥山があって、かつてはステータスある場所だったのかも知れませんね。

時の流れや権力者の考えから、街の佇まい、ステータスが変わります。今後は

街の記憶の断片をひとつずつ切り取って、じっくり見つめてみたいと思います。これだけ長く街を見ていると自分なりに色々な目標や課題が見えてきますので、よろしくお付き合いください。

南 一 弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エートス・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発（旧松下興産）の代表取締役役に就任。2006年ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役役に就任。